

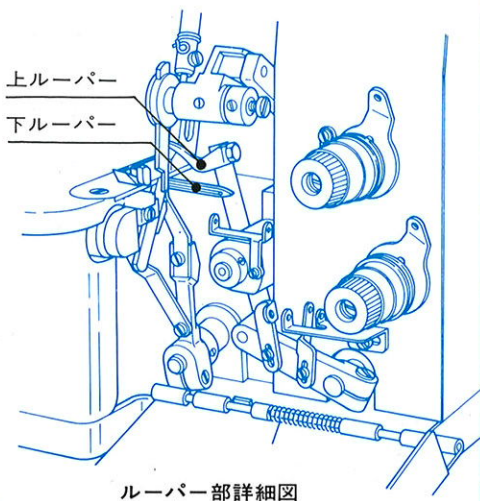
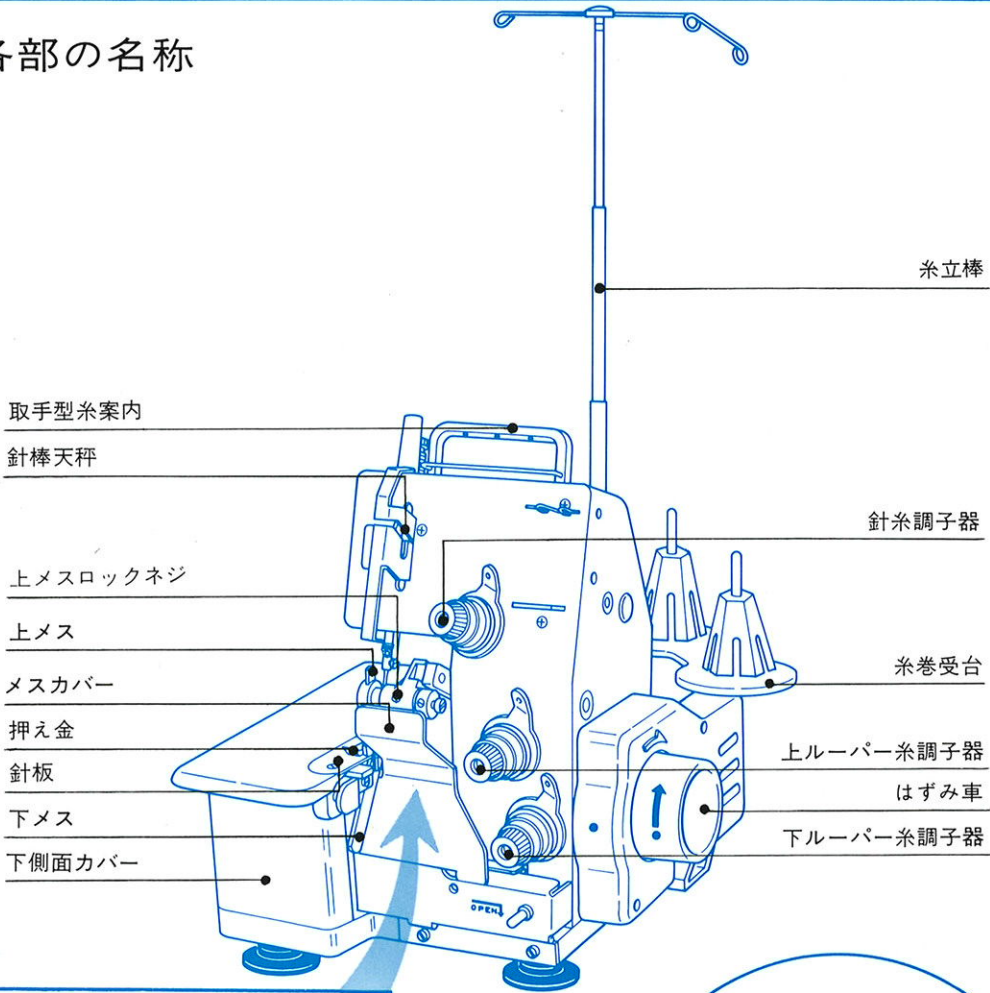
目 次

1. 縫うための準備	1
1-1 糸立棒のセット	1
1-2 メスカバー、下側面カバーの開け方	1
1-3 はずみ車の回転方向と針最上点位置	1
1-4 糸調子器の操作	2
1-5 縫い始めと縫い終わり	3
2. 普通ロックとして使用する場合	4
2-1 糸の通し方	4
2-2 普通ロックの糸調子つまみと送り目のセット	5
2-3 普通ロックの糸調子のとり方	6
3. 巻きロックとして使用する場合	7
3-1 普通ロック用針板から巻きロック用針板への交換	7
3-2 巻きロックの糸調子つまみと送り目のセット	7
3-3 巻きロックの糸調子のとり方	8
4. 使用糸と簡単な糸交換	10
4-1 使用糸について	10
4-2 簡単な糸交換	10
5. 極厚物・段縫いについて	11
6. 押え圧力の調節	11
7. 送り目の調節	12
8. 針の交換	12
9. メスの交換	13
9-1 下メスの取りかえ方	13
9-2 上メスの取りかえ方	13
10. 注油について	14
11. 点検と調整	14
12. 布地と糸の関連表	15
13. 梱包明細	16
14. BL3-406 II型の仕様	16

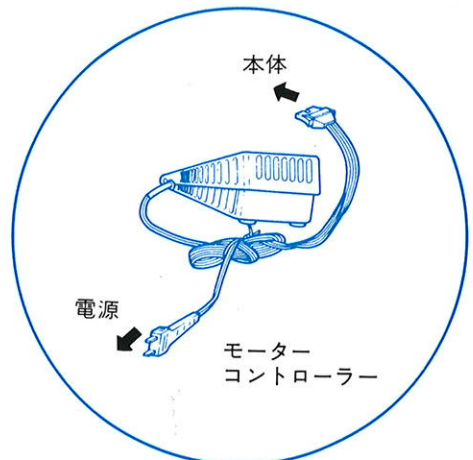
はじめに

このたびは、ベビーロックBL3-406II型をお買上げくださりまして誠にありがとうございます。
このミシンは3本糸普通ロックと巻きロックの2つの機能を兼ね備えていると同時に、薄物から厚物まで巾広く縫えるようになっております。
このてびきをよく読んで正しく、末永くご愛用ください。

各部の名称



ルーバー部詳細図

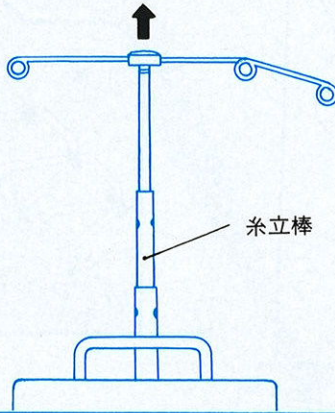


※安全のため使用後は電源プラグを抜いてください。
また、コントローラーの上に物をのせないでください。

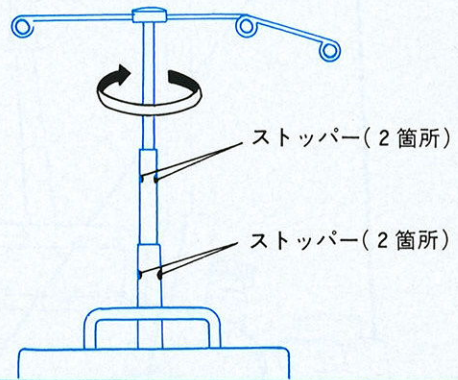
1 縫うための準備

1-1 糸立棒のセット

①糸立棒をいっぱい伸ばす。

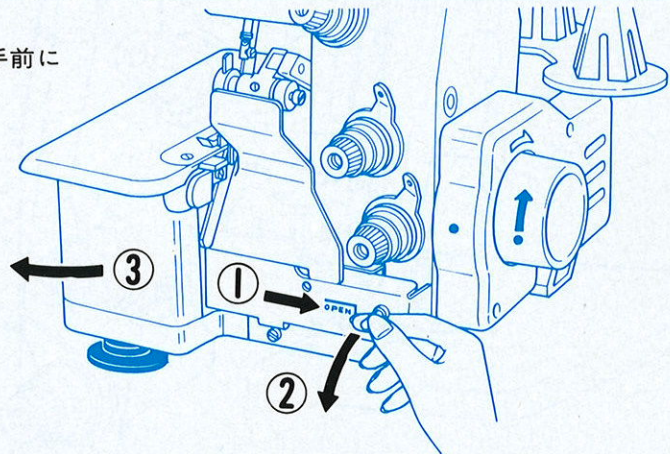


②糸立棒を回転させてストッパーで位置決めする。



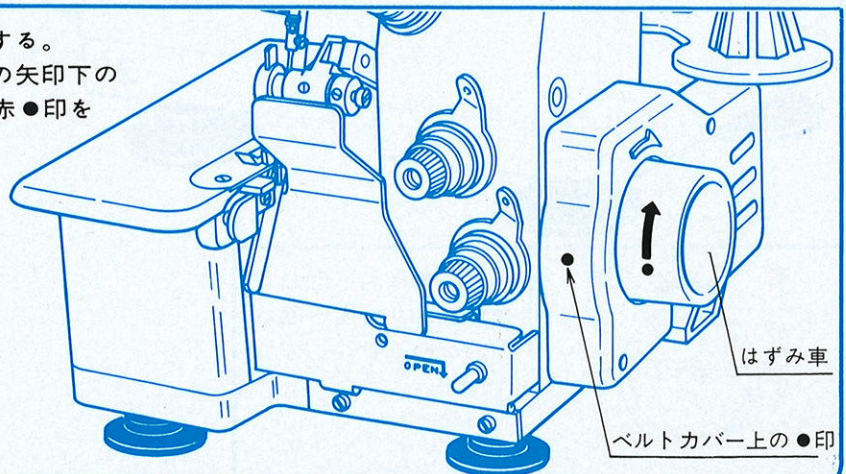
1-2 メスカバー・下側面カバーの開け方

- ①メスカバーのつまみを右へ引く。
- ②つまみを引いたままメスカバーを手前に倒す。
- ③下側面カバーを左へ開ける。

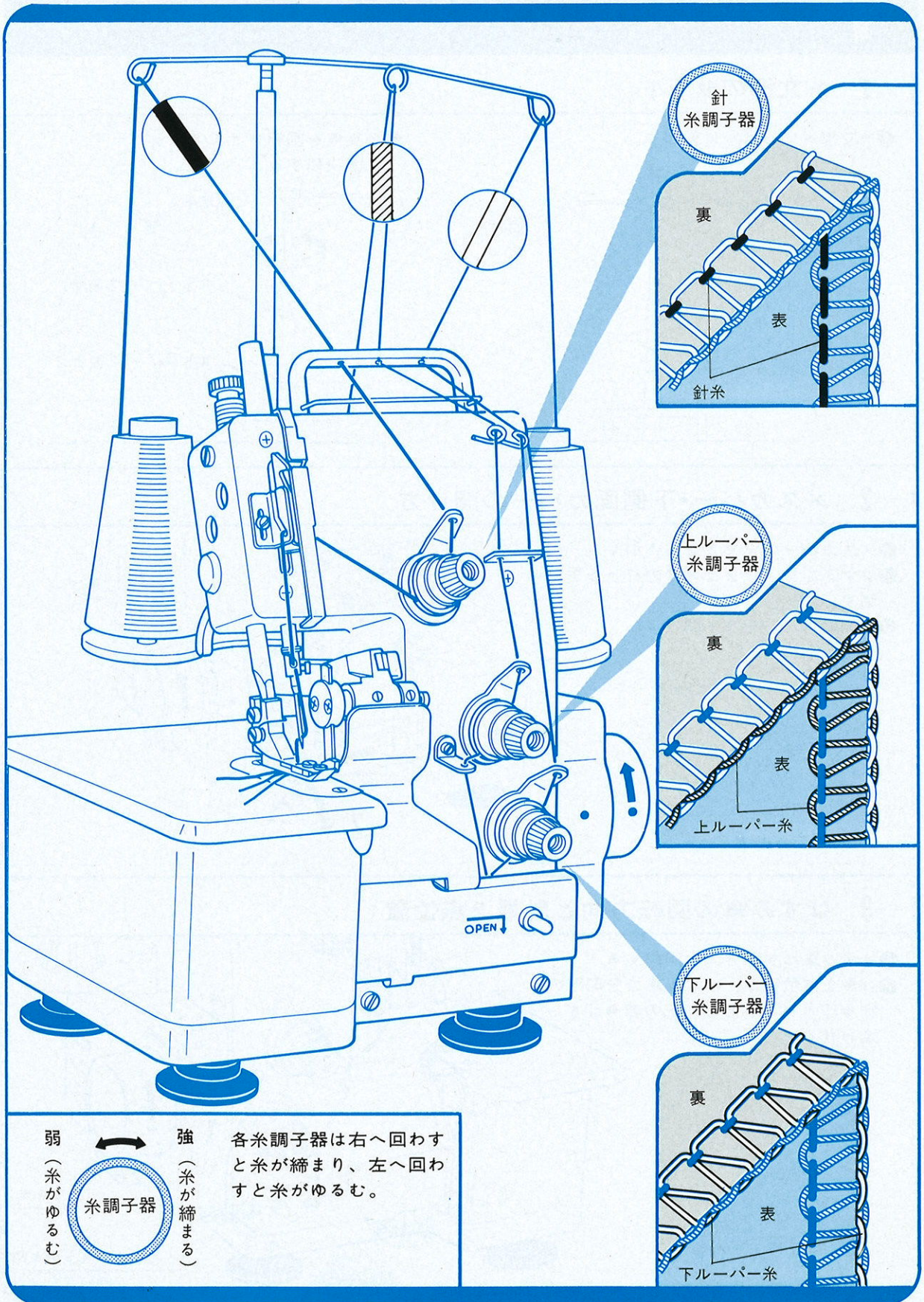


1-3 はずみ車の回転方向と針最上点位置

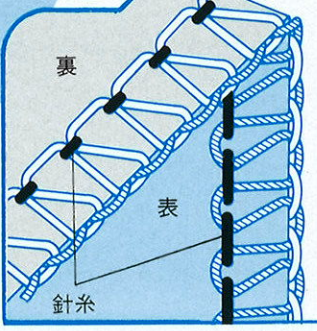
- ①はずみ車は矢印方向に回転する。
- ②針最上点位置は、はずみ車の矢印下の赤●印とベルトカバー上の赤●印を合わせる。



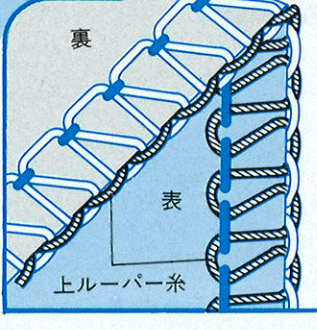
1-4 糸調子器の操作



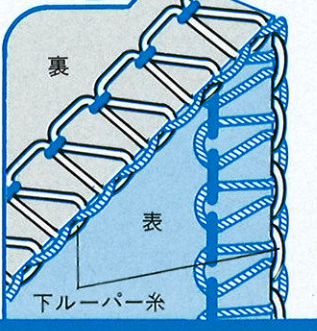
針糸調子器



上ルーバー糸調子器



下ルーバー糸調子器



弱 (糸がゆるむ)

←→

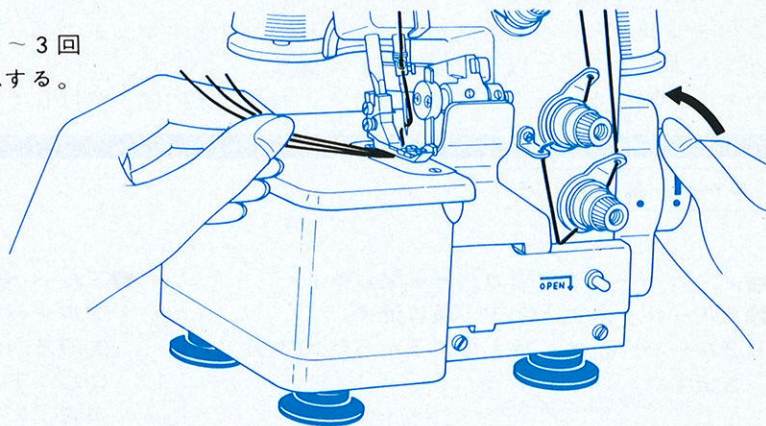
糸調子器

強 (糸が締まる)

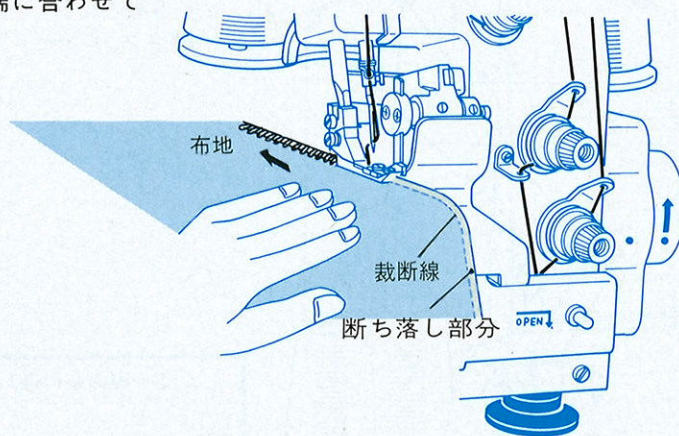
各糸調子器は右へ回わすと糸が締まり、左へ回わすと糸がゆるむ。

1—5 縫い始めと縫い終わり

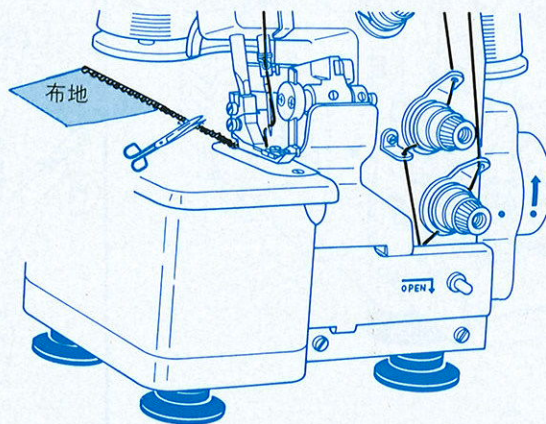
- ①糸かけの終わった糸の先端を左手で少し張りぎみにつまむ。
- ②右手ではずみ車を矢印方向に2～3回まわし、糸のからみ具合を確認する。



- ③布地の裁断線を針板の右端に合わせて縫いはじめる。



- ④縫い終わりは布地の端から2～5cm長く空縫いをして、切る。



2 普通ロックとして使用する場合

2-1 糸の通し方

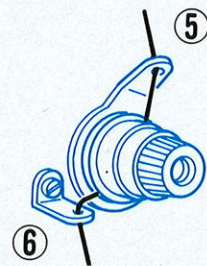
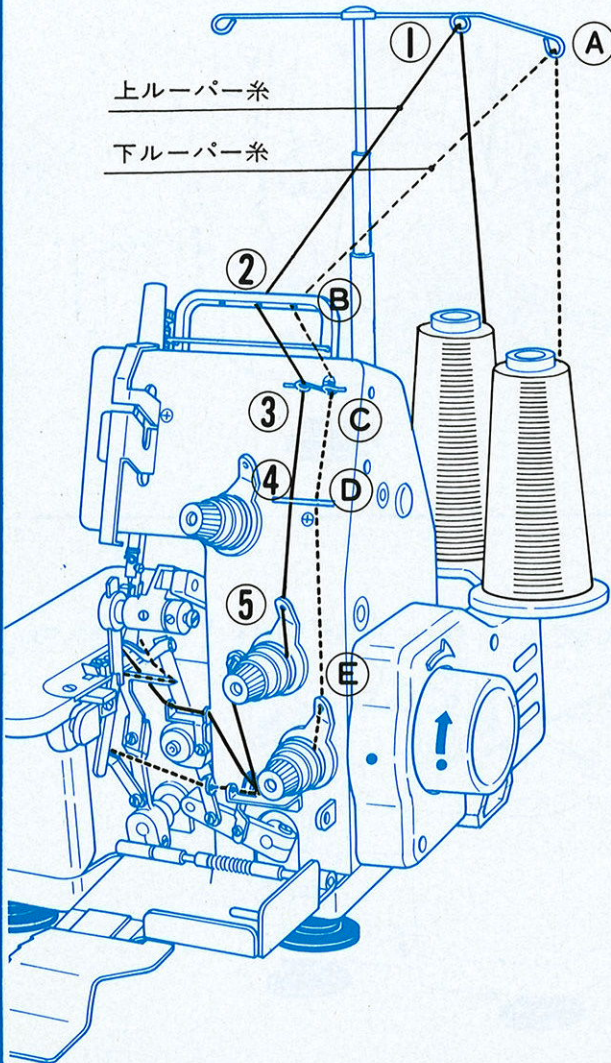
このミシンはあらかじめ糸がセットされておりますが、糸の通し方をまちがえますと、正しい裁縫ができませんので、以下の通り正しく通してください。

なお、下側面カバーを左に開けますと、糸通し案内図が貼付してありますのでご参照ください。

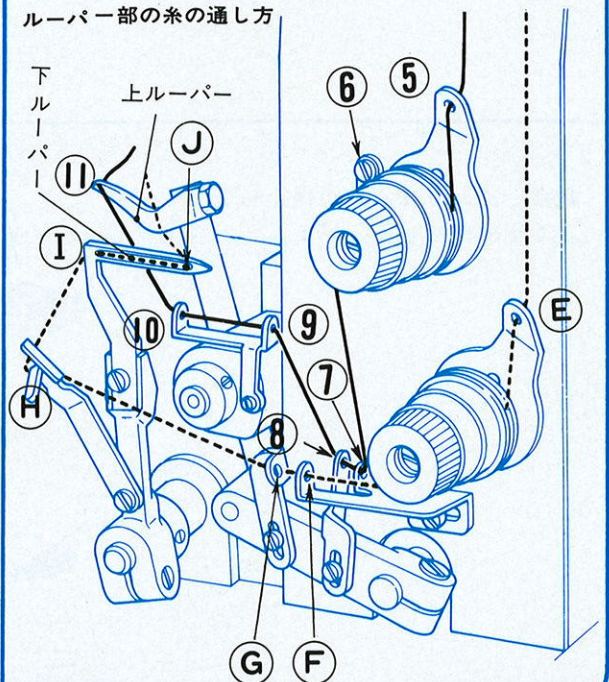
ルーパー糸の通し方

- ①メスカバー・下側面カバーを開ける。
- ②上ルーパー糸を①②③…順に通す。
 - ・上ルーパー糸は、押え金の下から約10cm引き出す。

- ③下ルーパー糸をA・B・C…順に通す。
 - ・下ルーパーに糸を通す場合は、はずみ車を矢印方向に回し、下ルーパーをいちばん左にし、下ルーパー糸案内(H)と、下ルーパー糸穴①に糸を通す。
 - ・次に下ルーパーをいちばん右にして、下ルーパー糸穴②に糸を通す。
 - ・下ルーパー糸は、押え金の下から約10cm引き出す。
- ④メスカバー・下側面カバーを閉める。



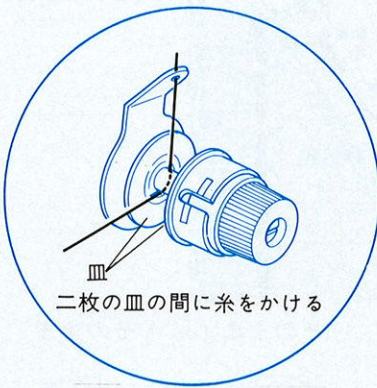
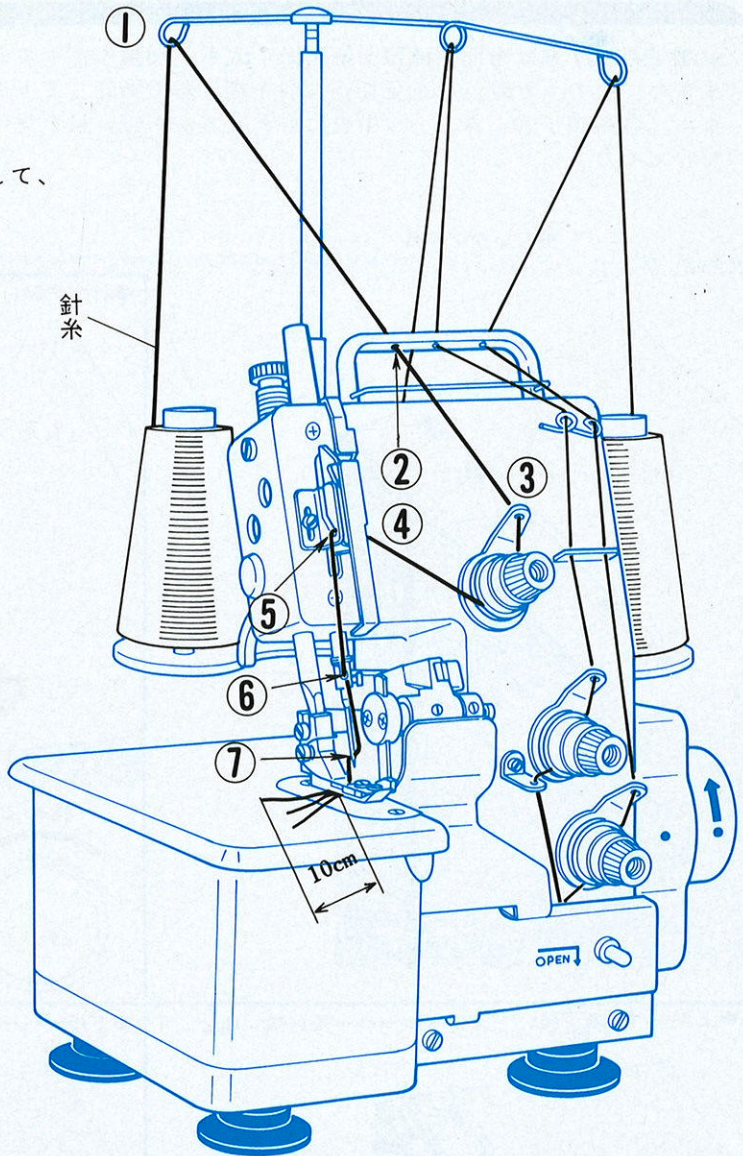
ルーパー部の糸の通し方



針糸の通し方

- ・針糸を①②③…順に通す。
- ・針穴には手前側から向こう側に通して、押え金の下から約10cm引き出す。

針糸



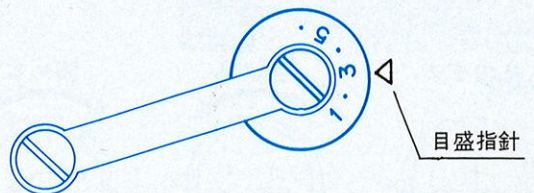
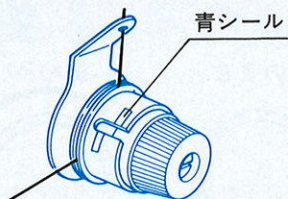
皿
二枚の皿の間に糸をかける

2—2 普通ロックの糸調子つまみと送り目のセット

このミシンはあらかじめ普通ロック用として、下図のように「糸調子つまみ」及び「送り目」がセットされています。

- ・各糸調子つまみの端を青シール中にセット。

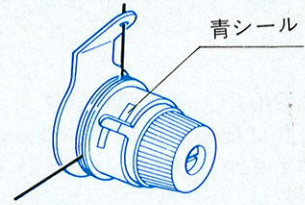
- ・送り目を3%(標準)にセット。



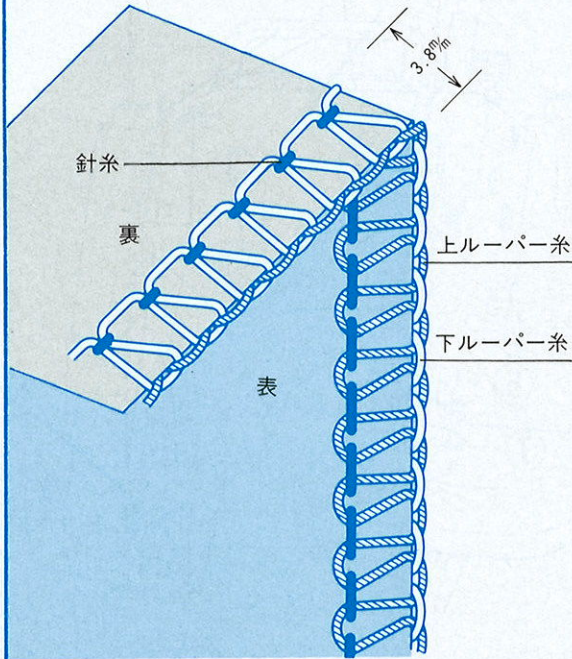
(送り目の調節はP12「送り目の調節」参照)

2-3 普通ロックの糸調子のとり方

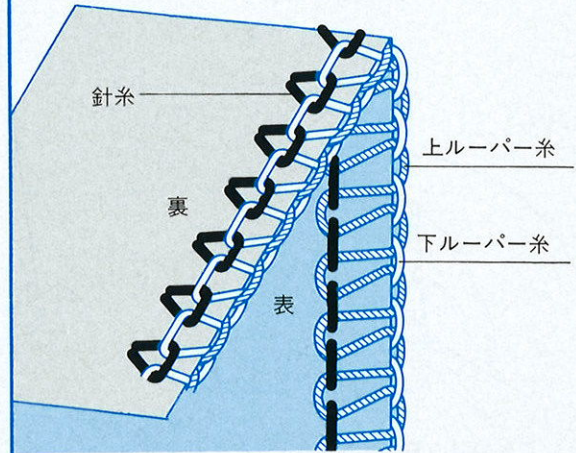
糸調子のとり方は布地の種類や使用糸の太さ、種類によっても違いますのでそのつど縫い目を見ながら各糸調子器で調節して下さい。まず、各糸調子器を青シール中央に合わせてから縫い目を見て微調整してください。



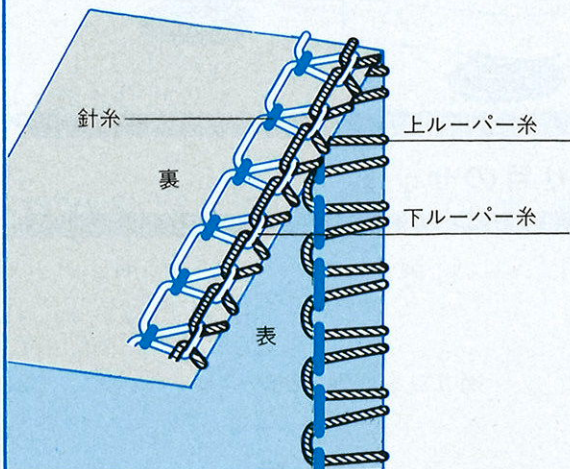
美しいかがり目



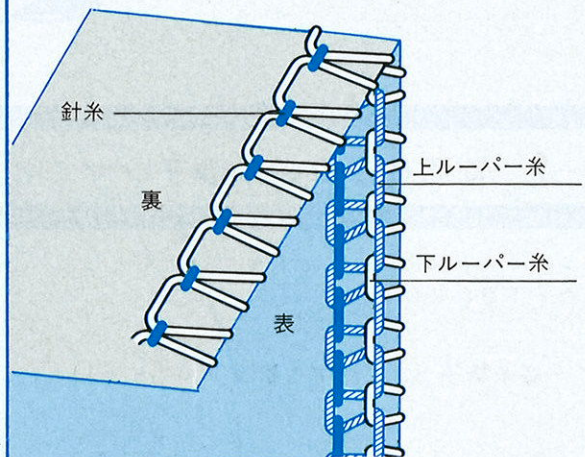
●針糸が弱い場合



●上ルーパー糸が弱い・又は下ルーパー糸が強い場合



●下ルーパー糸が弱い・又は上ルーパー糸が強い場合

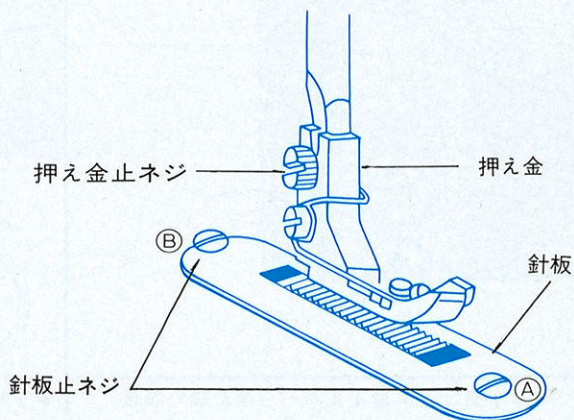


3 巻きロックとして使用する場合

このミシンはあらかじめ普通ロック用としてセットされておりますが、巻きロック用としてご使用になる場合、以下の手順に従い正しくセットして下さい。

3-1 普通ロック用針板から巻きロック用針板への交換

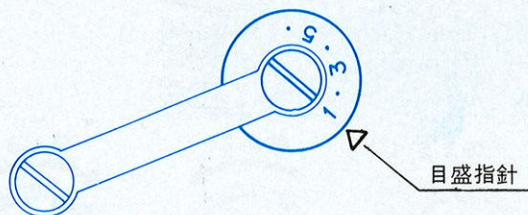
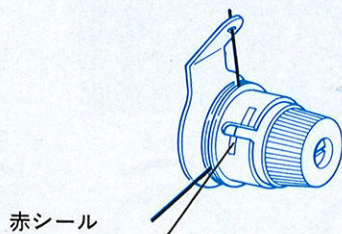
- ①メスカバーを開く。
- ②はずみ車を矢印方向に回し、矢印下の赤●印をベルトカバー上の赤●印に合わせる。(針最上点位置)
- ③押え金を上げ、押え金止ネジをゆるめて押え金を外す。
- ④針板止ネジ(A)を取り外し、止ネジ(B)を半回転程ゆるめて、普通ロック用針板を外す。
- ⑤付属の巻きロック用針板をセットし、針板止ネジ(A)(B)を締める。
- ⑥押え金を取り付ける。
- ⑦メスカバーを閉める。



3-2 巻きロックの糸調子つまミと送り目のセット

・各糸調子つまミの端を赤シール中にセット。

・送り目を1~1.5%にセット。



(送り目の調節はP12「送り目の調節」参照)

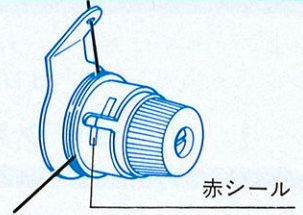
3—3 巻きロックの糸調子のとり方

このミシンは「標準巻きロック」と「変形巻きロック」の2通りの縫い方が出来ます。

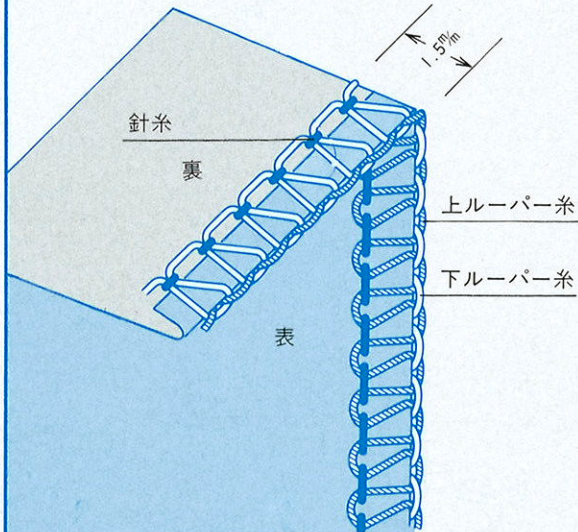
1. 標準巻きロックの場合

糸調子のとり方は布地の種類や使用糸の太さ、種類によっても違いますのでそのつど縫い目を見ながら各糸調子器で調節して下さい。

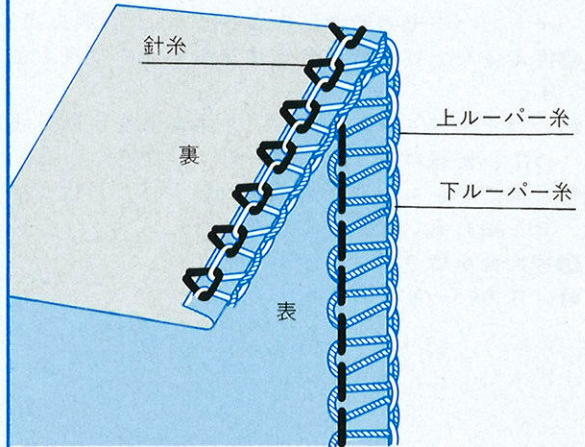
まず、各糸調子器を赤シール中央に合わせてから縫い目を見て微調整してください。



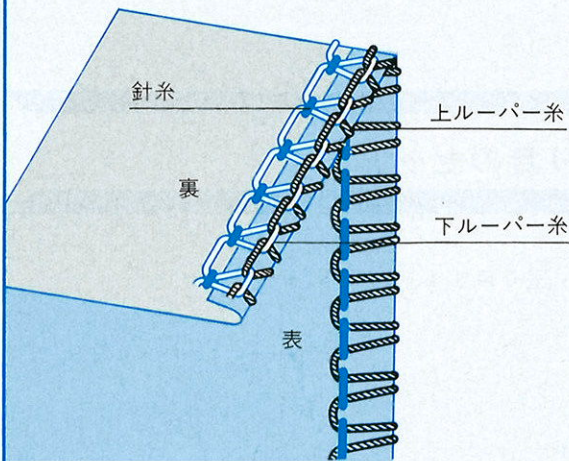
美しいかがり目



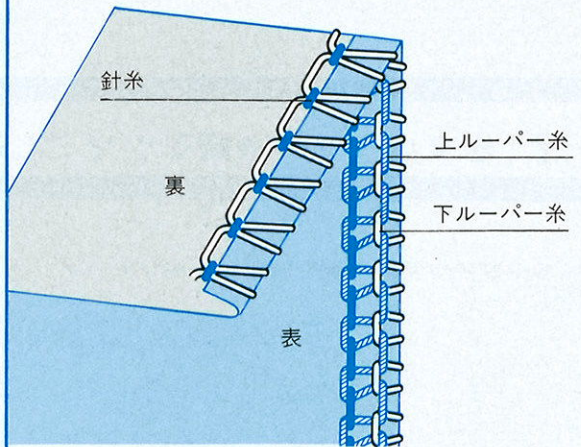
●針糸が弱い場合



●上ルーバー糸が弱い・又は下ルーバー糸が強い場合

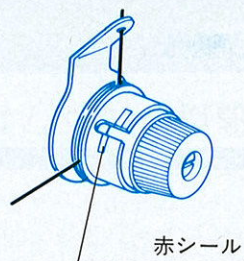


●下ルーバー糸が弱い・又は上ルーバー糸が強い場合

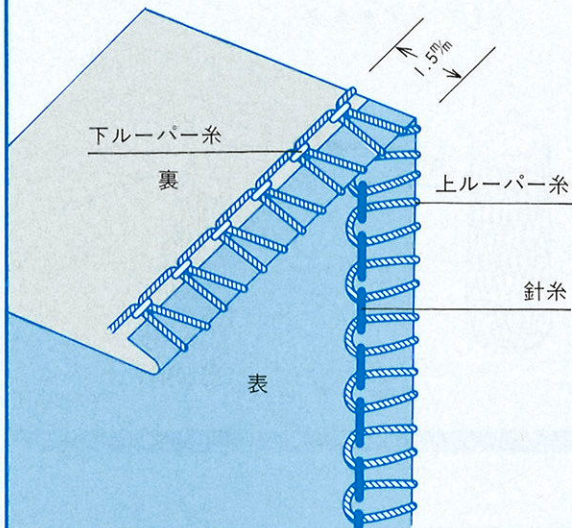


2. 変形巻きロックの場合

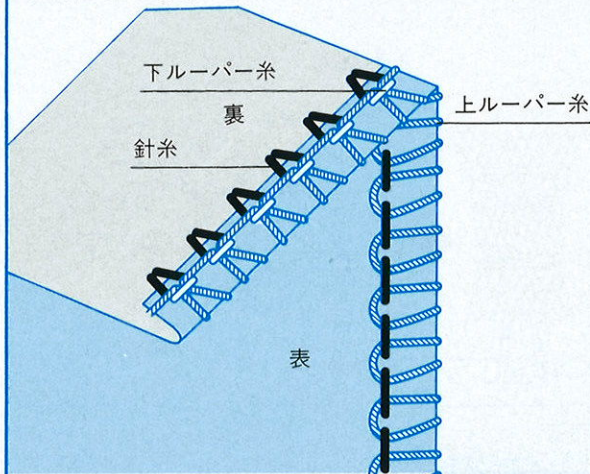
変形巻きロックは上ルーバー糸が裏側まで完全に巻き込んだ状態の縫い目となります。



美しいかがり目



●針糸が弱い場合



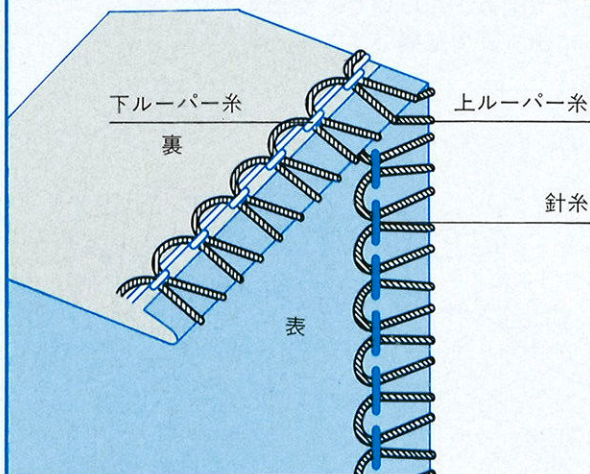
強める

そのまま

そのまま



●上ルーバー糸が弱い場合



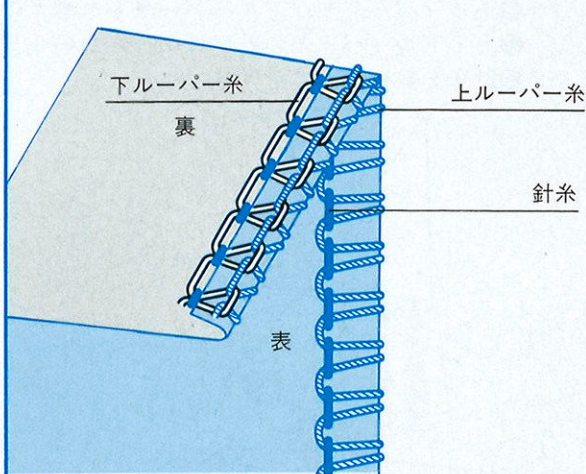
そのまま

強める

そのまま



●下ルーバー糸が弱い・又は上ルーバー糸が強い場合



そのまま

弱める

強める

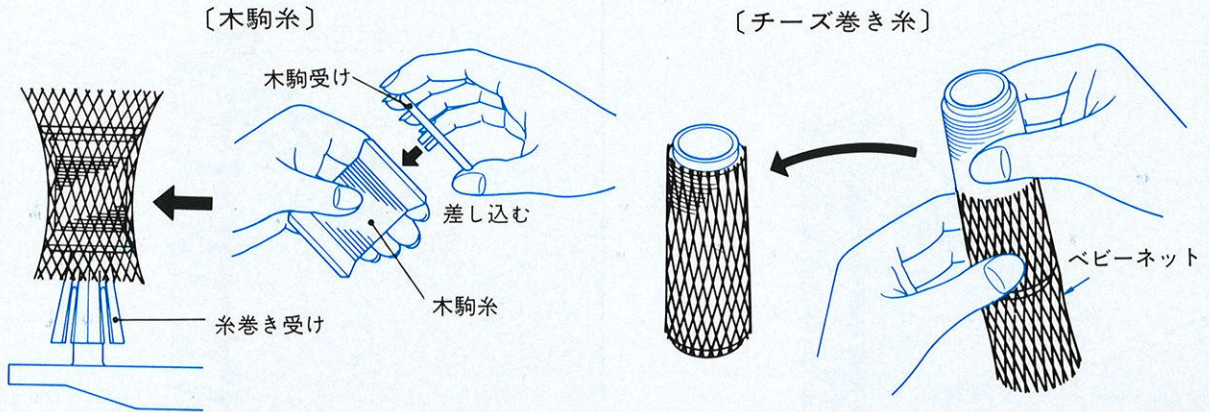


4 使用糸と簡単な糸交換

4-1 使用糸について

このミシンには普通チーズ巻き（又コーン巻き）の糸を使いますが、木駒糸もお使いになれます。この場合、次のように付属の木駒受けを木駒の穴に差し込んで糸巻き受けの上ののるようにセットしてください。

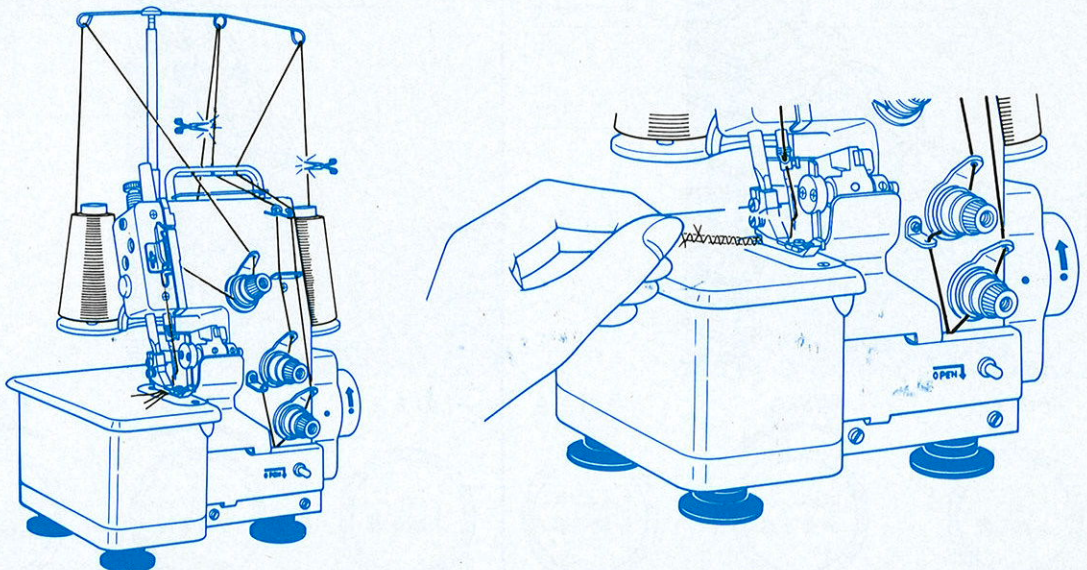
又、化繊糸などのほつれやすい糸は、付属のベビーネットをご使用下さい。



4-2 簡単な糸交換

このミシンはあらかじめ糸がセットされておりますが、使用中の針糸、上ルーパー糸あるいは下ルーパー糸を、色糸など別の糸と交換してお使いになる場合は、次のようにしていただくと便利です。

- ①上ルーパー糸及び下ルーパー糸を糸巻きの近辺で図のように切り、交換する糸と結ぶ。
- ②上・下ルーパー糸の結び目が押え金のうしろに出るまで空縫いする。
- ③針糸を好みの糸にかけ換える。



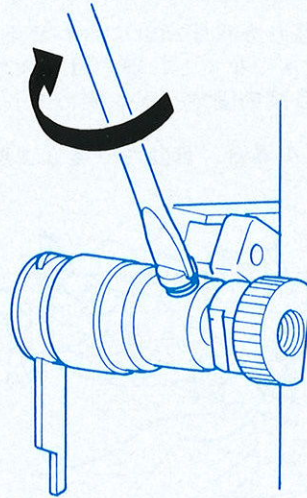
5 極厚物・段縫いについて

このミシンは、薄物から厚物まで、はば広く縫えるようになっていますが、極厚物、段縫いときは、図のように上メスロックネジを締めてください。

上メス最下点にてロックネジを締めて下さい。

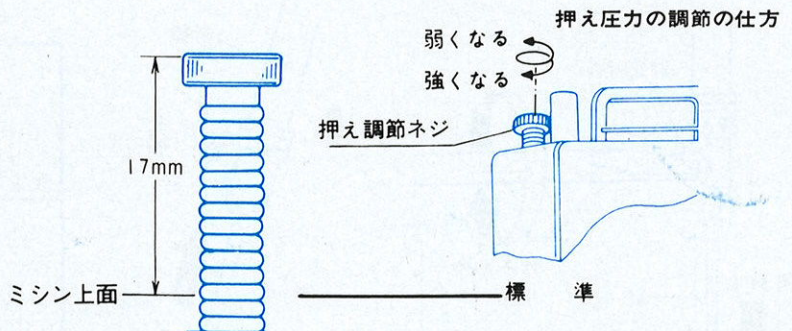
注意

- 通常縫いや薄物縫いの場合は、このネジを締めますと、メス切れが悪くなりますので、必ずゆるめてお使いください。



6 押え圧力の調節

このミシンはすでに押え圧力を標準（中厚物用）に調節してあります。極薄物、極厚物の場合のみ調節してください。薄い生地には押え圧力を弱くし、厚い生地には押え圧力を強くします。

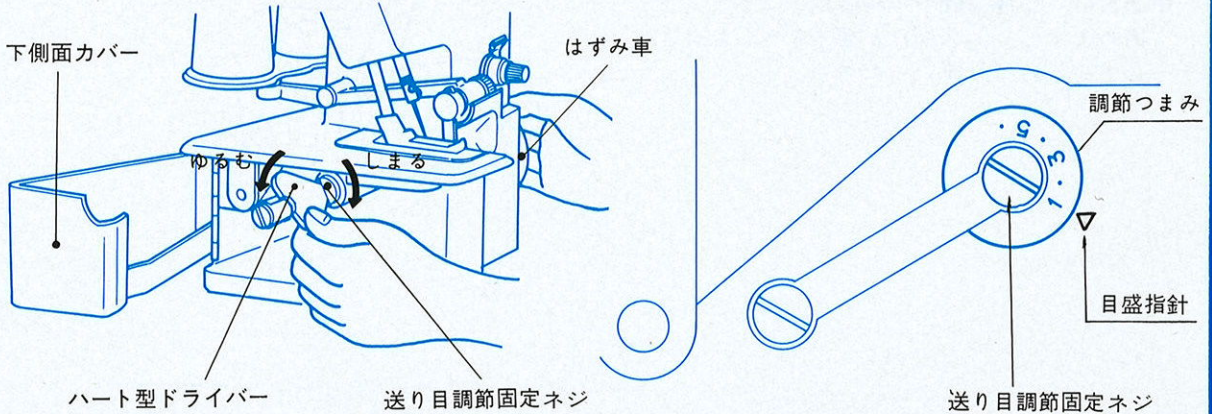


7 送り目の調節

送り目の調節は下側面カバーを開いて行ないます。

- ①右手ではずみ車を押え、左手でハート形の専用ドライバーを使って、送り調節固定ネジをゆるめる。
- ②調節つまみの目盛りを目盛指針に合わせる。
(目盛り数字が大きくなると、縫い目も大きくなる。)
- ③調節後は、送り目調節固定ネジを締める。

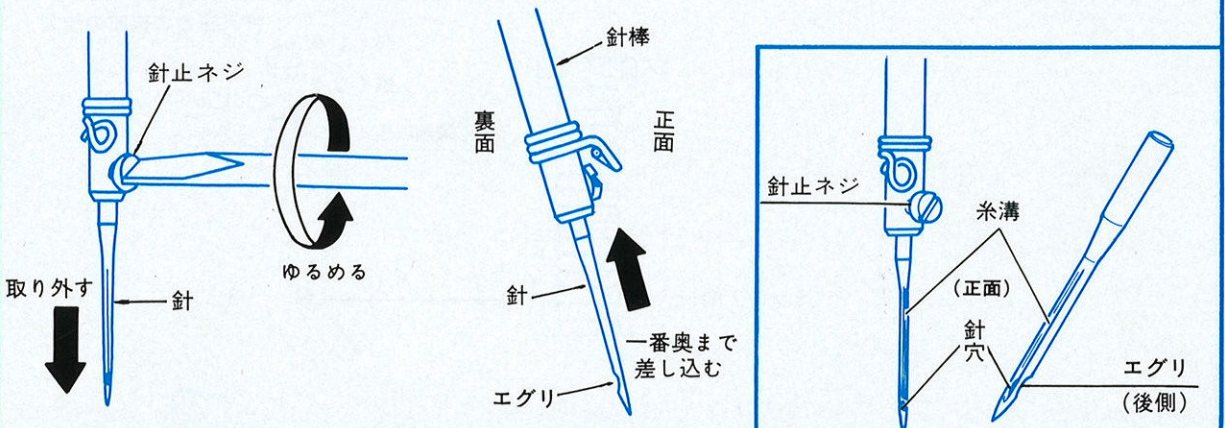
注) 送り目調節する場合、目盛を一度0に戻してから、希望の送り目に合わせる。



8 針の交換

はじめに必ず電源プラグを抜いてから作業してください。

- ①はずみ車を矢印方向に回し、矢印下の赤●印をベルトカバー上の赤●印に合わせる。
(針最上点位置)
 - ②針止ネジを矢印方向にゆるめて針を取り外す。
 - ③新しい針のエグリを後側にして、針棒の穴の一番奥まで差し込み、針の向きが狂わないように手でしっかり押え、針止ネジを固く締めつける。
- ※尚、このミシンの使用針 DC×1 には、正面及び裏側に糸溝がありますので、取り付けにはご注意ください。

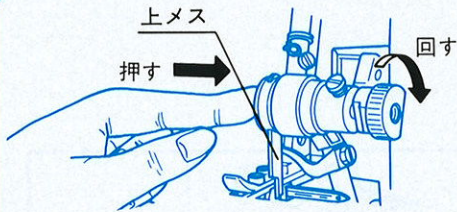


9 メスの交換

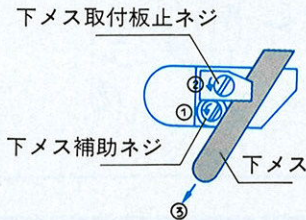
はじめに必ず電源プラグを抜いてから作業してください。メスは消耗品ですので切れなくなったら交換してください。

メスが切れなくなった場合通常下メスを交換してください。

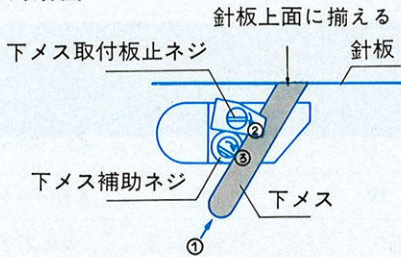
9-1 下メスの取りかえ方



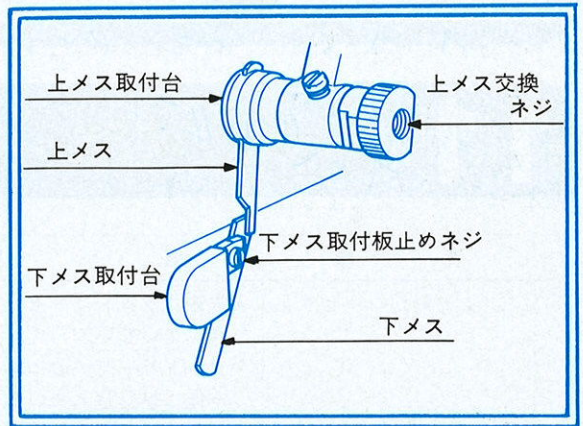
下メス取りはずし図



下メス取付図



- ①上メスを押して回し、上にあげる。
- ②下メス補助ネジを左に45度(1/8回転)回わして、下メスの押し付けを解除する。
- ③次に下メス取付板止ネジをゆるめて下メスを下に抜く。
- ④新しい下メスを下メス取付台のメス溝に合わせて、下から上に差し込み、下メス刃先が針板上面と同じ高さになるようにして、下メス取付板止ネジを締めつける。
- ⑤次に下メス補助ネジを右に45度(1/8回転)回して、下メスを押し付ける。
- ⑥上メスを元の位置に戻す。

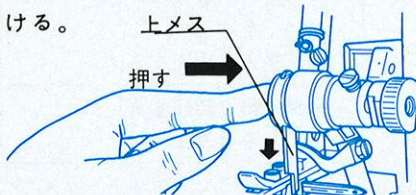


9-2 上メスの取りかえ方

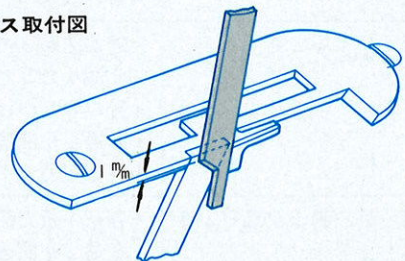
(上メスは長寿命の特殊な材質が使われているので通常交換の必要はありません。)

上メスがいちばん下った位置で行なってください。

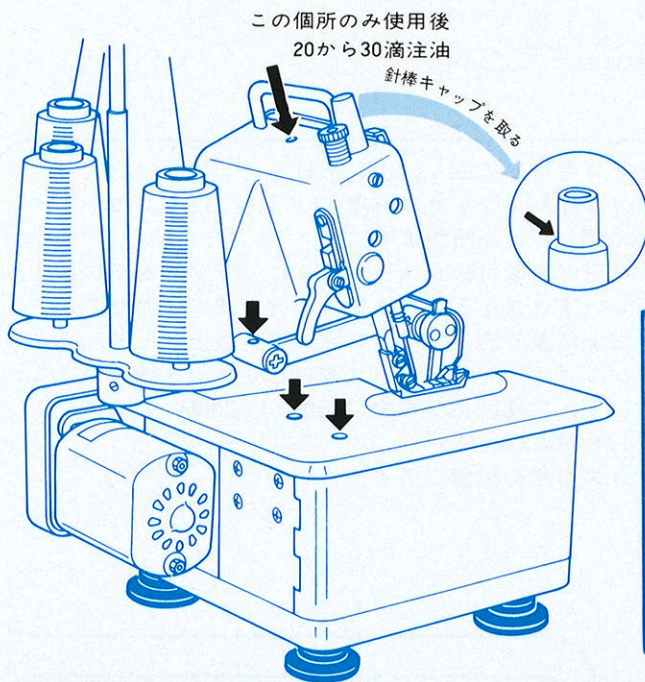
- ①上メス交換ネジをゆるめて、上メス取付台を右へ押し上メスを下に抜く。
- ②新しい上メスを上メス取付台に上から差し込む。
- ③上メスの手前刃先が下メス刃先位置に対して1mmていど噛み合うように位置決めし、上メス交換ネジを締めつける。



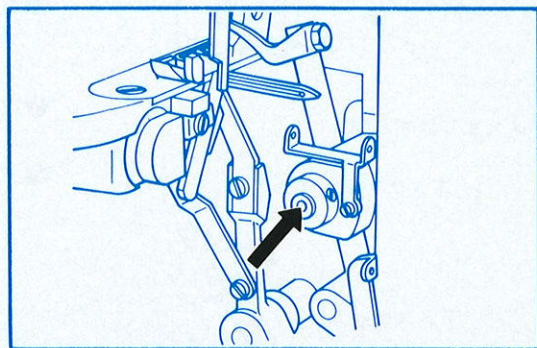
上メス取付図



10 注油について



このミシンの大切な箇所にはすべて特殊な材料（含油メタル）を用いておりますが、図の矢印の箇所に定期的に1～2滴注油してください。



11 点検と調整

現象	原因	調整	参照ページ
ミシンが動かないとき	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに差し込んでいない。 コントローラーのコネクターを本体に差し込んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに差し込む。 コントローラーのコネクターを本体に差し込む。 	表紙の裏 表紙の裏
糸が切れるとき	<ul style="list-style-type: none"> 糸通しが間違っている。 糸調子が強すぎる。 針が曲がっている。 針の取り付けが間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しく糸を通す。 糸調子器を調節する。 針を交換する。 針を正しく取り付ける。 	4 2 12 12
針が折れるとき	<ul style="list-style-type: none"> 針が曲がっている。 針の取り付けが間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 針を交換する。 針を正しく取り付ける。 	12 12
目とびするとき	<ul style="list-style-type: none"> 針が曲がっていたり、針先がすり減ったりしている。 針の取り付けが間違っている。 糸通しが間違っている。 押え圧力が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> 針を交換する。 針を正しく取り付ける。 正しく糸を通す。 押え圧力を調節する。 	12 12 4 11
縫い目の調子が悪いとき	<ul style="list-style-type: none"> 各糸の張力調整が不十分。 糸通しが間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 糸調子器で調節する。 正しく糸を通す。 	2 4

12 布地と糸の関連表

〔普通ロックの場合〕

	布地の種類	糸	針
木綿	〔薄地〕 ボイル、ローン、ブロード、ギンガム、亜麻など	テトロン #100 スパン #90	DC×1 #7~11
	〔厚地〕 オックスフォード、デニム、キルティング、ギャバジンなど	スパン #90~60 綿 #80~60	DC×1 #11~14
絹	デシン、クレープ、オーガンジー、サテンなど	絹 #100 テトロン #100	DC×1 #7~11
	〔薄地〕 トロピカル、ポーラ、ポプリシなど	スパン #90 テトロン #80 綿 #80	DC×1 #11
毛	〔普通地〕 サージ、ギャバジン、フラノなど	スパン #90~60 テトロン #80~60 絹 #50	DC×1 #11~14
	〔厚地〕 ベロア、キャメル、アストラカンなど	スパン #60 テトロン #60~50 絹 #50 綿 #60~50	DC×1 #14
化繊 混紡	〔薄地〕 ジョーゼット、ボイル、サテンなど	スパン #90 テトロン #100	DC×1 #11
	〔厚地〕 タフタ、ツイル、ベネシャンなど	スパン #90 テトロン #80~60	DC×1 #11~14
ニット	トリコット (化繊、合繊)	スパン #90 テトロン #80~60	DC×1 #9~11
	ジャージ (毛、合繊)	スパン #60 テトロン #60 ウーリー糸(ナイロン・テトロン)	DC×1 #11~14
	毛糸編地	スパン #60 テトロン #60~50 ウーリーナイロン ウーリーテトロン 極細毛糸	DC×1 #14

〔巻きロックの場合〕

	布地の種類	糸	針
木綿	ボイル、ローン、ブロード、ギンガムなど	テトロン#80とウーリーナイロン スパン #90~80 テトロン #80	DC×1 #7~11
絹	デシン、クレープ、オーガンジー、サテンなど	テトロン #100 絹 #100	
化繊	ジョーゼット、ボイル、サテンなど	テトロン#80とウーリーナイロン テトロン #100	

13 梱包明細

1. ミシン (モーター付)
2. コントローラーセット
3. ビニールカバー
4. ご使用のてびき
5. 保証書
6. アクセサリー・ボックス

ドライバー (マイナス用)
 針 DC×1
 下メス
 ピンセット
 掃除用ブラシ
 油差し
 ハート型ドライバー (送り目調節用)
 木ゴマ受け
 ベビーネット
 ラクラク糸通し
 巻きロック用針板

14 BL3-406 II型の仕様

基本項目	仕様
かがり巾	普通ロック 3.8 ^{m/m} 巻きロック 1.5 ^{m/m}
縫い目 (送り目)	1 ~ 5 ^{m/m}
針棒ストローク	25 ^{m/m}
メス上下量	6.5 ^{m/m}
押え上り量	5 ^{m/m}
送り歯高さ	0.7 ^{m/m} (標準)
使用針	DC×1 #7 ~ #14, (シュメッツ621)
使用糸本数	3本
給油方式	油芯装置付手差方式
ミシンの大きさ	タテ 250 ^{m/m} ヨコ 250 ^{m/m} 高さ 280 ^{m/m}
ミシンの重さ	8 kg (モーター付完成品)

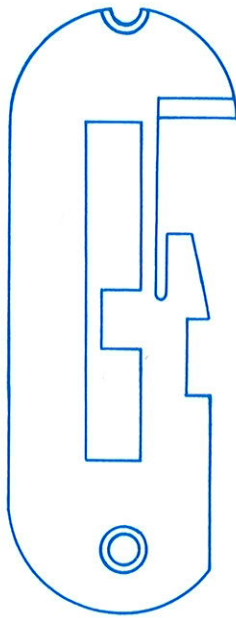
※都合により使用書の内容を一部変更する場合があります。

〔ベビーロックBL3-406II型 広巾ロック用アタッチメント〕

このミシンは操作性を容易にするため、普通ロック時におけるかがり巾を使用ひん度の一番高い3.8%に設定しておりますが、広巾ロックとしてご使用される方のために、5%巾の針板をBL3-406 II型専用アタッチメントとして別売しております。

ご購入はお近くのベビーロックショップで……。

広巾ロック用針板



現金正価 2,500円

